

ラ・ペルーズ世界周遊記

ラ・ペルーズ 1798年 パリ刊

未知との遭遇



1785年8月、ラ・ペルーズはフランスを出発し、大西洋を横断、南米のホーン岬を回り、チリに到達します。翌年、イースター島を經由してハワイ諸島へと向かいました。太平洋上の絶海の孤島であるイースター島。当時もやはりモアイが目をはいたようで、挿絵はその巨大さを伝えています。他方、現地住民はまるで天地創造の時代に暮らしているかのように描かれており、18世紀末のヨーロッパ人が思い描く楽園幻想が色濃く反映されています。

The Record of a Round-the-World Trip of La Perouse, La Perouse, 1798, Paris

In August 1785, the French naval officer and explorer La Perouse departed from France, crossed the Atlantic Ocean, sailed around Cape Horn, and arrived in Chile. The following year, he headed for Hawaii via Easter Island. The page on display shows an illustration of Moai, huge statues of Easter Island.



ラ・ペルーズ^{ぜかい しゅうこう}世界周航記^き ラ・ペルーズ^{ちよ}著 1798年^{かん} パリ刊

未知^{みち}との遭遇^{そうぐう}!



手に何か道具を持っているよ。
何をしているところか、考えてみよう!

★どんな本?
⇒ラ・ペルーズというフランスの大航海家が大西洋を横断し、南北の太平洋をまわったときのことを書いたもの。たくさんの版画とともに、著者の死後に出版されました。

★ラ・ペルーズってどんな人?
⇒本名をジャン・フランソワ・ド・ガローといいます。フランスの海軍士官であり、探検家でもありました。フランス王ルイ16世に命じられて、太平洋の島々をめぐるために大西洋を出発します。サンタクルーズ諸島でゆくえ不明になり、世界周航の道半ばで命を落しました。

☆調べてみよう!
ラ・ペルーズは日本近海も訪れたので、「ラ・ペルーズ海峡」と名付けられた地名が日本周辺にもあるよ。どこにあるのかな?